

Design Your Smile

健康創造のスズケングループ

Smile Communication

スズケングループ
CSR宣言書

表紙について

「Smile」を中心にスズケングループ新入社員の笑顔がつながり、大きく広がっていきます。それはグループの一体感と事業の広がりを表し、すべての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続けるスズケングループの姿をイメージしています。

本書、「スズケングループCSR宣言書」は初版であり、またグループCSR元年であるため、それにふさわしい希望に満ちた新入社員の笑顔にてデザインしました。

本書のタイトル「Smile Communication」には、わたし達スズケングループが、すべての方々と双方向のコミュニケーションを図り、笑顔のキャッチボールを通して、ともに発展していきたいという想いを込めています。

すべての人々を 「笑顔」に

■編集方針

「スズケングループCSR宣言書 Smile Communication」は、スズケングループが一体となり、総合力を発揮することで、より充実したCSRに取り組んでいくことを皆さまへお伝えする宣言書です。

スズケングループはこれまでも、グループの顔として活躍する各社が、それぞれの地域ですべての方々のお期待にお応えするため、さまざまな活動に取り組んできました。この宣言書は、その活動を共有し、融合することによって、グループの総合力へと高め、さらなる社会への貢献へとつなげるための取り組みを、グループ全体として推進していくことを宣言するものです。

推進にあたっては、その主役である社員一人ひとりが、まず一つには主体性を持つことが重要であり、もう一つには、グループCSRやグループ各社を理解し合うことで、一体感を醸成することが重要となります。そこで、本書の第一の読者を、スズケングループ社員と位置づけました。

また、ステークホルダーの皆さまとは、双方向コミュニケーションの充実が重要と考えています。そのための第一歩として、わたし達スズケングループを理解していただくための自己紹介から始めることにしました。

従って本書は、スズケングループCSRとスズケングループが展開している事業等を紹介しています。

CONTENTS

編集方針	01
スズケングループ全体概要	03
トップメッセージ	05
スズケングループCSR スズケングループCSR推進のイメージ スズケングループのステークホルダーとその想い	07
スズケングループの事業領域と社会への役立ち	09
特集① 座談会 スズケングループ経営理念の策定	13
特集② スズケングループ形成の歩み	17
特集③ 「お得意さま」とともに歩む 深夜の急配で出会った、Smileの力 介護に対するイメージがもっと変わっていくことを信じて ありがとうの言葉で噛みしめた、責任とやりがい パーキンソン病と闘う患者さまと、心が通じた喜び	19
特集④ 「仲間」とともに歩む 信念を持って立ち上げたセミナーで築いた、確固たる基盤 誠意だからこそつながる、笑顔のバトン 仕事と育児の両立は、周囲の支えがあるからこそ 医療食の情報共有、人の絆で笑顔も共有	21
特集⑤ 「地域社会」とともに歩む その向こう側で、患者さまが待っているからこそ すべての笑顔が、やがて信頼へと育つことを信じて 新型インフルエンザの正しい知識を、地域に伝えるという使命 笑顔を磨き上げていく努力、それが社会への貢献につながる	23
スズケングループ「Smile宣言」	25
編集後記	37

スズケングループは
どんなグループなんだろう。
これから始まる旅が
楽しみだね。



健康創造のスズケングループ

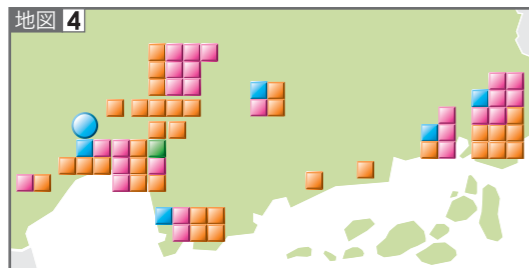
地域に根ざし、医療と健康になくてはならない存在へ

スズケングループは、地域に密着したグループ各社が互いに連携し、全国規模で展開する「健康創造企業」です。製薬企業から医療機関や保険薬局、そして患者さまに至るまでの医療流通全体の機能を担うことに加え、医療用医薬品はもちろんのこと、診断薬、医療機器、医療材料、医療食においても、強じんな流通体制を整えることにより、「医療流通プラットフォームの確立」を目指しています。多角化事業においては、医療や健康という領域で収益基盤を確立し、絶対的な価値を提供することにより、「医療と健康のベストパートナー」を目指します。

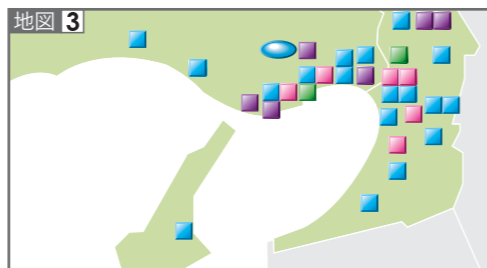
■スズケングループが展開している事業

- | | | | | | |
|---|-----------------------------|--|---|-------------------|--|
| ■ 医薬品卸売事業 | ■ 医薬品製造事業 | ■ 保険薬局事業 | ■ 医療関連サービス事業 | ■ 医療機器製造事業 | ■ その他の事業 |
| (株)スズケン
(株)スズケン沖縄薬品
(株)スズケン岩手
ナカノ薬品(株)
(株)サンキ
(株)アスティス
(株)翔葉
神宮薬品(株)
(株)スズケンロジコム
秋山物流サービス(株)
有(株)サンキ・メディハート | (株)三和化学研究所
★…研究所
◆…工場 | (株)すずらん薬局
両毛医薬品(株)
(株)中国ファーマシー
(株)メディシス
(株)ファークス | (株)ライフメディコム
(株)札幌メディケアセンター
サンキ・ウエルビー(株)
(株)サンキ・クリニカルリンク
(株)HMS
エス・マックス(株)
(株)シルバーメイト
(株)ジェイ・アイ・ティー | ケンツメディコ(株) | (株)ライフサポート
(株)ガレノス
(株)コラボワークス
有(株)九葉サービス
中央運輸(株)
P・J・Dネットワーク(株)
グッドサービス(株) |
- ※その他25社

地図 4



地図 3

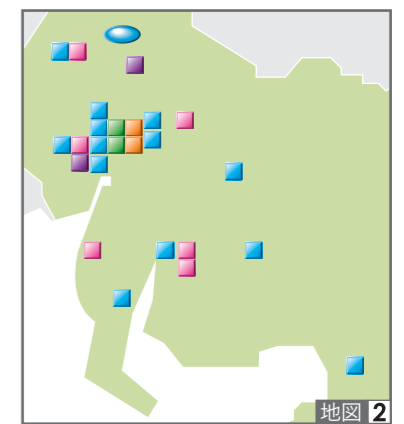
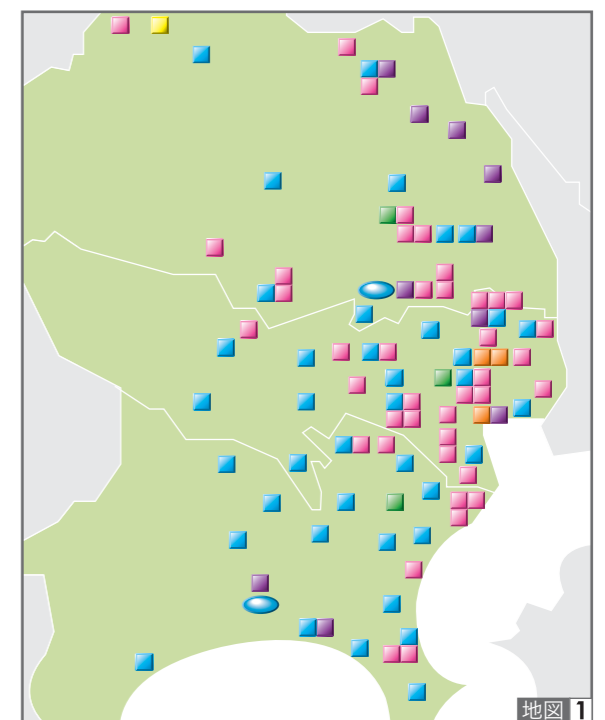


地図 4

地図 3

地図 2

地図 1



すごーい!
スズケングループは
日本全国にあるんだね!!

■売上高(2010年3月期)

1兆7,354億円

連結データ(株)スズケン、連結子会社57社)

■従業員数(2010年3月31日現在)

14,655人



わたし達を取り巻くすべての人々に 「笑顔」になっていただきたい



株式会社スズケン 代表取締役会長

荻野 芳樹

スズケングループ経営理念の実現に向けて

スズケングループは、志を同じくする仲間との幾度ものアライアンスを経て、いまや50社を超える大きな企業集団へと発展してまいりました。2009年4月にはグループ全企業の一体感と総合力を高めながら、より高次元のグループへと進化していくことを目的に、グループ経営理念を策定しました。この経営理念には「わたし達を取り巻くすべての人々に『笑顔』になっていただきたい」というスズケングループ全社員14,600名の想いが込められています。

そして今回、スズケングループはあらゆる人々から信頼され、社会とともに発展し続けるために、「スズケングループCSR」への取り組みを宣言します。社会や人々の価値観が多様化し、企業の社会的責任が従来よりも広い視点でとらえられるようになった今、わたし達はこれまで以上に社会の一員・企業市民としての自覚を持って、社会から望ましい企業と評価されるにふさわしい責任の果たし方、ご期待への応え方をしなければなりません。

この宣言書は、スズケングループがお得意さまをはじめ地域住民、株主・投資家、一緒に働く仲間たち

など、すべてのステークホルダーの声に耳を傾け、その期待に誠実にお応えし、社会への責任を果たしていくことをお約束するものです。

社会になくってはならない企業となるために

では、スズケングループらしい社会への責任の果たし方、ご期待への応え方とは、どのようなものでしょうか。それは、医療・健康という事業領域で、「すべての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続ける」こと、すなわち「スズケングループ経営理念」の実現にほかなりません。

これまでもスズケングループ各社では、経営・事業活動はもとより人材育成・社会貢献・環境活動などに取り組んできました。しかし、グループ経営理念の実現のためには、これまでそれぞれの地域や会社ごとに行ってきた個々の取り組みを、グループ全体で共有し、「スズケングループCSR」として体系化する必要があります。スズケングループ各社の連携から生まれるシナジー効果を最大限発揮し、社会やわたし達を取り巻く人々のご期待にさらにお応えしていくことにより、社会になくってはならない存在として信頼を得ることができるのだと考えます。

CSRの担い手は、社員一人ひとりです

わたし達は、「スズケングループCSR」をグループのネットワーク力により、大きな潮流とし、全国へ

広げてまいります。その流れを力強く推し進めていくのは、グループの総合力であり、グループを構成する社員一人ひとりの活動です。

グループ経営理念策定1周年を迎えた今年、キーワードである「笑顔」の体験談を社員から募集しました。お得意さま、社会、仲間、家族との「笑顔」など、全国各地からさまざまな体験談が寄せられました。「深夜に薬の配達をして、医師や患者さまから感謝の言葉をいただいた」、「ご紹介した薬で長年苦しんでいた症状が顕著に改善して、患者さまに『笑顔』になっていただいた」など、どの体験談からも業務を通して社会や人々のお役に立つために努力する社員の姿が伝わってきました。

こうした日々の努力の一つひとつが、スズケングループ経営理念実現の原動力であると言えるでしょう。大切なのは、「スズケングループCSR」のビジョンをすべての社員が理解し、行動に移していくことです。

20年後あるいは50年後、社会とともに発展し、社会から信頼されるスズケングループの未来の姿を思い描き、そこから今やるべきことを見つけ出し、行動していくこと。それが「スズケングループCSR」実践の第一歩です。

自らの仕事に自信と誇りを持ち、想いを共有するスズケングループの全社員とともに、「Design Your Smile健康創造のスズケングループ」のメッセージを社会に響かせてまいります。

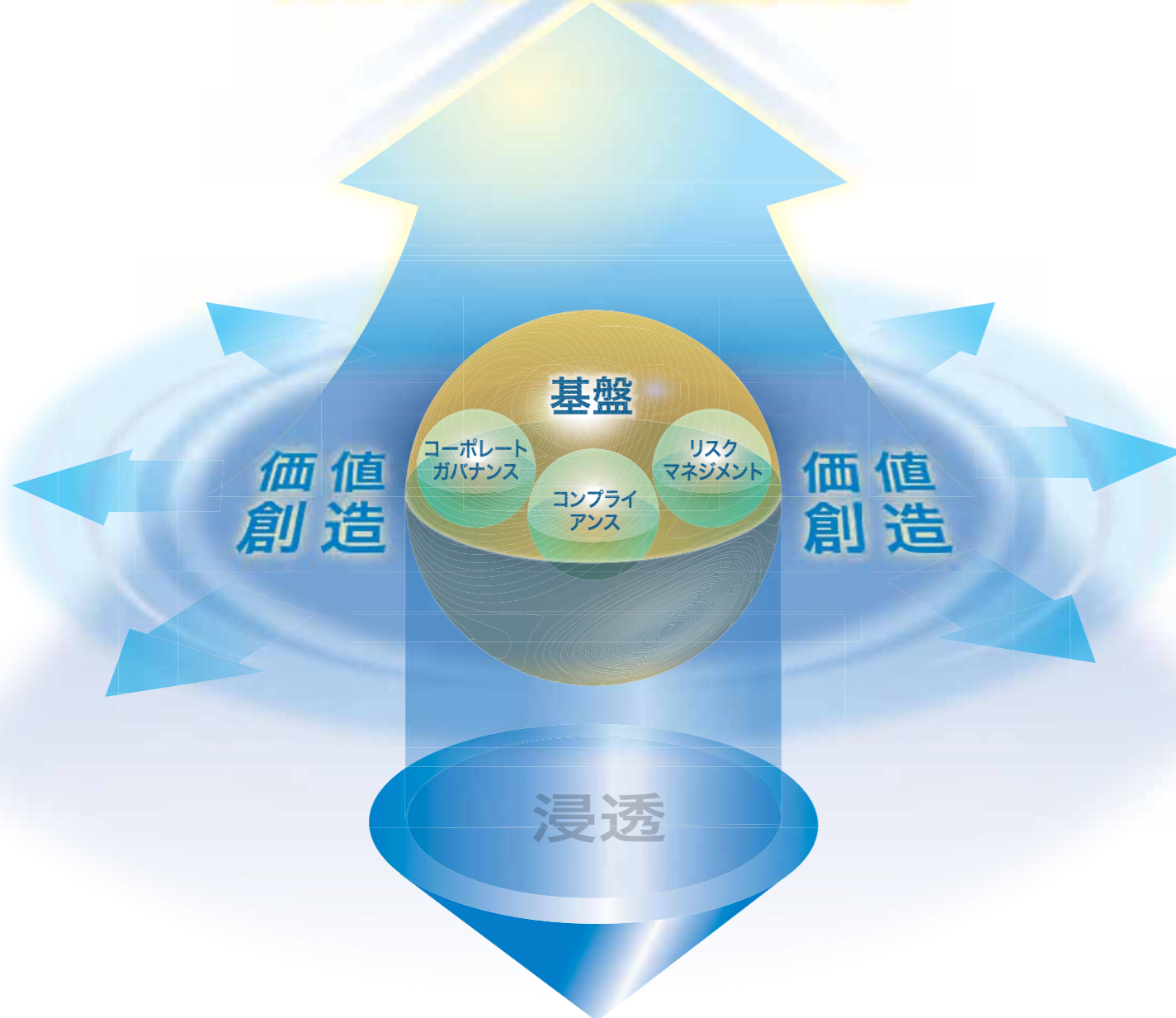
すべての人々を「笑顔」に スズケングループ経営理念の実現こそが、わたし達の

スズケングループCSRは、グループ経営理念を実現していくことにあります。グループ経営理念には、あらゆるステークホルダーの皆さまに「笑顔」になっていただきたいという思いが込められています。

スズケングループはその思いを推進するにあたって、経営の基盤となる「コーポレートガバナンス」「コンプライアンス」「リスクマネジメント」をより深く浸透させ、揺るぎないものにしていく一方で、新たな価値を創造し、さらなる高みに向けて挑戦し続けていきます。そのためには、ステークホルダーの皆さまへの思いを大切に、ステークホルダーの皆さまとの双方向コミュニケーションをさらに充実し、グループ総合力を発揮することが重要と考えています。

[スズケングループCSR推進のイメージ]

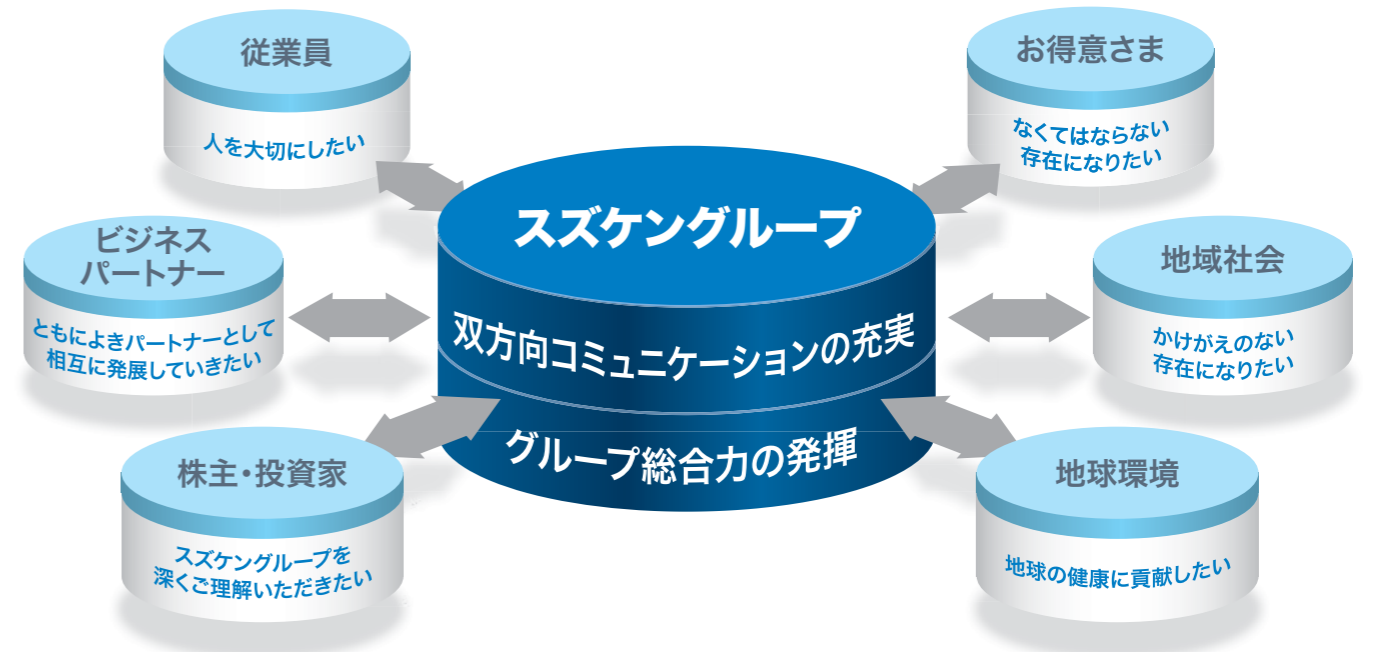
CSRビジョン スズケングループ経営理念の実現



やっぱり
CSRのキーワードは、
「笑顔」なんだね。

CSRビジョンです

[スズケングループのステークホルダーとその思い]



■スズケングループ経営理念

ミッション 存在意義・使命

「健康創造のスズケングループ」は、グループの英知を集め、すべての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続けます

スズケングループの存在意義、社会から与えられている使命を表したものです。

ビジョン 将来の理想像

「健康創造のスズケングループ」は、健康に関わるさまざまな領域で、新しい価値を創造することに挑戦し、すべての人々の笑顔を応援するベストパートナーを目指します

スズケングループの目指すべき方向、将来あるべき姿を表したものです。

バリュー 行動基準

SMILE 誠意(Sincerity)と倫理観(Morality)をもって
独自性(Identity)を生かし
お客様さまに学ぶ(Learning)心で
進化(Evolution)し続けます

スズケングループの価値観で、社員一人ひとりの行動基準を表したものです。それぞれのイニシャルをとると、キーワードの「笑顔」、つまり「SMILE」となります。

■スズケングループメッセージ

**Design
Your
Smile**

健康創造の
スズケングループ

経営理念のキーワード「笑顔」をテーマにスズケングループはすべての人々の健康で豊かな生活を創造するとの決意を込めました。



スズケングループの事業領域と社会への役立ち

◆心臓安全性評価支援サービス[株式会社スズケン]

- 5 心電図データのQT間隔の計測
 - 6 心毒性試験(注1)実施医療機関への心電計レンタル(設置、回収等)
- 注1:薬物の副作用として心電図変化(QT間隔延長)が生じ、致死的な重症不整脈が発生する可能性があることから、新薬開発時に心臓に対する安全性評価(心電図QT間隔の測定)を行うことをいいます

◆治験(注2)支援[株式会社サンキ・クリニカルリンク]

- 7 治験コーディネーターによる患者さまへの治験の説明
 - 8 治験実施医師への患者の健康状態等の情報提供
- 注2:新薬開発時に薬の安全性、有効性の評価を行うことをいいます

◆医薬品メーカーのマーケティング支援[エス・マックス株式会社]

- 16 医師への面談等による医療用医薬品の使用状況等の調査
 - 17 医師から収集した医療用医薬品情報の分析
 - 18 医薬品メーカーへの分析結果の販売
- ◆医療・健康分野の広告[株式会社ライフメディコム]
- 19 医薬品メーカー担当との製品パンフレット制作打合せ

◆医薬品卸会社(スズケン・翔業)を対象とした荷役請負・運送

- [株式会社スズケンロジコム/秋山物流サービス株式会社]
 - 24 スズケン・翔業の物流センターおよび支店での医療用医薬品等の仕分け
 - 25 医療用医薬品等の医療機関・保険薬局への配送
- ◆医薬品卸会社(スズケン・サンキ)を対象とした運送
- [株式会社サンキ・メディハート/中央運輸株式会社]
 - 26 26 医療用医薬品等の営業拠点への配送
- ◆保険代理店業[株式会社ライフサポート/有九薬サービス]
- 27 自動車保険、損害保険等の商品説明

5 この患者さんのQ波とT波の間隔は…

6 この心電計の使い方は…

8 治験を受けるAさんの今日の体調は…

16 なぜ、この医薬品をお使いですか？

27 保険

◆医療用医薬品等の製造[株式会社三和化学研究所]

- 9 工場での医療用医薬品の製造
- ◆聴診器・血圧計の製造[株式会社ケンツメディコ]
- 10 工場での聴診器・血圧計の製造
- ◆心電計の製造[株式会社スズケン]
- 11 工場での心電計の製造

19 パンフレットのデザインは…

◆医療用医薬品等の研究[株式会社三和化学研究所]

- 1 新薬創出のための基礎研究
- ◆医療用医薬品等の開発[株式会社三和化学研究所]
- 2 動物による安全性・有効性試験
- 3 新薬創出のための開発会議
- 4 治験計画の作成

◆医薬品メーカーを対象とした荷役請負

- [株式会社コロラボワークス]
 - 12 倉庫での医療用医薬品等の保管管理
 - 13 倉庫での医療用医薬品等の入出荷作業
- ◆医薬品メーカーを対象とした運送
- [株式会社中央運輸/株式会社P・J・Dネットワーク]
 - 14 医療用医薬品等の医薬品卸会社への配送
- ◆人材派遣[株式会社グッドサービス]
- 15 中央運輸への運転手の派遣

◆医療用医薬品等の販売[株式会社三和化学研究所]

- 20 MR(注1)による医師への医療用医薬品の製品説明
- 注1:MR(Medical Representative): 医薬情報担当者と呼ばれています
- 21 診断薬担当者等による看護師等への小型血糖測定器の製品説明
 - 22 ニュートリション担当者等による栄養士への医療食の製品説明
- ◆医療・健康分野の出版[株式会社ライフメディコム]
- 23 専門医との医療分野の学会誌、学術本の出版打合せ

◆SPD事業
 (医薬品や医療材料等、病院内で使用する物品を一元管理し、院内業務の効率化を図るシステム)
 [株スズケン/株サンキ/株アステイス/株翔業/株ジェイ・アイ・ティー/株スズケンロジコム/
 秋山物流サービス株 ※株スズケンロジコム、秋山物流サービス株については荷役を担当]
 35 医療用医薬品・医療材料等の調達・在庫管理
 34 病棟・手術室等部署別・患者別の小分け作業
 37 病棟・手術室等必要部署への搬送
 38 物品消費データの提供

スズケングループは、
 いろいろなところで
 お役に立っているんだね。

◆医薬品メーカーの販売代行[医薬品卸各社※1]
 39 医療機関に対してメーカーに代わって医療用医薬品の詳細情報の提供
 40 メーカーへのマーケティング情報の提供
 ◆保険薬局の経営効率化サポート[医薬品卸各社※1]
 41 薬局経営支援システム、コミュニケーションシステムの提供
 ◆保険薬局の人材育成サポート[医薬品卸各社※1]
 42 MSによる薬剤師への研修会の開催

◆介護ヘルパーの養成[サンキ・ウエルビィ株]
 56 介護ヘルパー養成のための介護実習
 ◆訪問・通所・施設介護支援サービス
 [サンキ・ウエルビィ株/株ファークス※]
 ※株ファークスについてはケアプラン作成のみ
 57 グループホームの運営
 58 介護タクシーによる送迎
 59 ヘルパーによる要介護者宅での入浴介助
 60 ケアプランの作成

◆医療機関・保険薬局の
 医薬経営コンサルティング
 [株HMS]
 47 労務管理等セミナーの開催
 48 組織活性に向けた提案・アドバイス

◆医療用医薬品の調剤[保険薬局各社※2]
 43 処方せんの受付、薬歴等の内容確認
 44 医療用医薬品の調剤
 45 調剤した医療用医薬品のダブルチェック
 46 患者さまへの服薬指導

◆疾病予防情報の提供[株スズケン(健康創造館)/株三和化学研究所(糖尿病ニコニコ学校)]
 49 疾病予防等に関するモバイルサイト(健康創造館)の提供
 50 疾病予防等に関するWEBサイト(糖尿病ニコニコ学校)の提供
 ◆疾病予防のための保健指導サービス[株スズケン]
 51 保健師・管理栄養士による生活習慣病予備軍への運動・食事指導
 ◆疾病予防のための機器の提供[株スズケン]
 52 活動量計を装着しての消費カロリー等の測定

◆福祉住環境のコーディネート[株シルバーメイト]
 61 バリアフリーに対応した住宅改修
 ◆介護用品のレンタル・販売
 [サンキ・ウエルビィ株/株シルバーメイト]
 62 電動ベット、杖、車いす、シルバーカーなどの
 福祉用具のレンタル・販売

◆健康増進のための食品の販売[株ライフサポート/株ガレノス]
 53 栄養機能食品・医療食等の販売
 ◆医療機関向け不動産および診断機器のリース[株札幌メディケアセンター]
 54 医療ビルおよび診断機器の賃貸
 ◆什器・備品の販売[株ライフサポート]
 55 医療機関への什器・備品の提案

◆医療機関・保険薬局の医療用医薬品、診断薬、医療機器、医療材料、医療食の購買代行
 30 MS(注1)による医療用医薬品等の商品説明[医薬品卸各社※1]
 注1: 医薬品卸の営業担当者はMS(マーケティング・スペシャリスト)と呼ばれています
 31 診断薬専任者による病院臨床検査室への診断薬の商品説明
 [株スズケン/株スズケン沖縄薬品/株アステイス/株翔業/株サンキ/株アステイス/株翔業/株宮薬品株]
 32 医療機器専任者による医療機関への医療機器の商品説明[医薬品卸各社※1]
 33 医療材料専任者による医療機関への医療材料の商品説明
 [株スズケン/株スズケン沖縄薬品/株スズケン岩手/株アステイス/株翔業]
 34 医療食専任者(栄養士等)による病院栄養科への医療食の商品説明
 [株スズケン/株サンキ/株アステイス/株翔業]



みんなの想いをつないで、『笑顔』が生まれた



司会進行
佐藤 満 (エス・マックス) 入江 明衣子 (翔薬 管理本部 管理統括部 経理部 経理課) 石黒 左千夫 (スズケン 経営企画部) 山本 一雄 (三和化学研究所 代表取締役社長) 富田 麻子 (スズケン 管理本部 人材開発部 ワークライフバランス推進室) 松山 力也 (スズケン SCM 本部 サプライチェーン事業企画部 事業企画課 (翔薬より出向)) 深町 友紀子 (翔薬 管理本部 人事統括部 人材開発部 人材開発課)

「スズケングループ経営理念」は、グループ会社の若手社員から管理職まで、全国12ブロック、24チームの総勢144名が中心となり、グループ各社の仲間を巻き込みながらつくられました。

今回、このプロジェクトに参加したメンバーの代表に集まっていただき、当時を振り返る座談会を企画しました。

当時、グループ経営理念構築責任者であった(株)三和化学研究所の山本社長。多様なグループ会社で構成されたチームをまとめあげた首都圏管理者層チームのリーダー エス・マックス(株)の佐藤さん。入社式で新入社員に対し、グループ経営理念への想いを語っていただいた本社若手・中堅層チームのリーダー (株)スズケンの富田さんと九州若手・中堅層チームのリーダー (株)翔薬の松山さん。九州若手・中堅層チームのメンバーで、バリューの「SMILE」を提案した(株)翔薬の入江さんと深町さん。

皆さんがグループ経営理念に託した想いをご紹介します。

グループの気持ちを一つにするために

石黒 まずグループ経営理念策定の発端を構築責任者の山本社長におうかがいします。

山本社長 グループの社長が集まり課題を話し合うクロ



スカンパニーミーティング(CCM)で、グループの一員として、社員がいかに行動すればよいか、その精神的なよりどころや指針が必要だという話が出ました。それを突き詰めて考え

ていくと、経営理念という話になっていきました。

石黒 CCMの中で、グループ各社の社長の総意からスタートしたんですね。

山本社長 きっかけはトップからでしたが、各社の社長

には、グループの気持ちが一つになるものをつくりたいという想いがあり、新入社員から管理職まで多くの方の意見を聞こうと、全国を12のブロックにわたって24のワーキングチームを発足させました。できるだけ多くの皆さんと一緒にやりたいと思っていました。

石黒 入社30年近くになりますが、全国のグループが集まって何かをやるという経験は初めてでしたね。ワーキングチームのメンバーに選ばれた皆さんはどうお感じになりましたか。

佐藤 もともとスズケン出身なので、スズケンの経営理念は理解していました。ただ経営理念は上から与えられるものと思っていましたので、自分たちで、しかもグループ全体の経営理念をつくることには戸惑いがありました。



富田 私は不安が大きく、当時の上司に「私でいいんでしょうか?」と聞いてしまいました。スズケンの経営理念を最上位で絶対的なものと無意識に思っていたので、それより上位の理念を考えることに驚きがありました。

深町 メールでメンバー選出の通知が届いたのですが、間違いメールかと思いました。入社2年目のMSの私が、何をすればよいか想像もできませんでした。当社がスズケングループの一員だという認識は入社時からあったので、グループ経営理念という考え方に違和感はなかったです。

山本社長 CCMの中でも、スズケンの経営理念があるのだから、それをグループで共有すればいいという意見もありました。ただ私はグループ全員の総和にこそ価値があると思っていました。

チームメンバーを知ることから始めた

石黒 山本社長が強行軍で全国のワーキングチームを訪ね、説明会を行いスタートしました。初めてチームメンバーと顔を合わせた時の気持ちをお聞かせください。

佐藤 実は知らない会社の方も多く、初顔合わせではお互いしっかりと会社紹介をし合いました。

山本社長 私自身、知らない会社もありましたね。

松山 わたし達のチームは翔薬から4名で人数も多かったため、リーダーとして他社の方に馴染んでもらえるよう気を配りました。

入江 チーム内でも最初は経営理念に対するとらえ方が違っていました。それを同じ方向にすることに苦労しました。方向が定まると、「よし、自分たちでつくっていくんだ」という気持ちで一つになれましたね。

富田 本社チームのメンバーはスズケンと三和化学で構成され、会社自体を知らないといったことはありませんでしたが、いざスタートすると具体的に何をしているかよくわかっていないことに気づかされました。またグループ経営理念を何のために、そして経営層ではなく社員が考えるのか、そこから理解していかないと進めないということで最初に時間をかけました。進行中も何回かそこに戻りました。それぞれが理解して、腹に落とすまでが大変でしたね。

石黒 所在地も離れていて仕事も違うので、意見を集約する苦労もあったと思いますが。

佐藤 チーム内の垣根を取り払うことから始め、お互いに忙しい中、メールや携帯電話で頻りに連絡を取り合うまでになりました。

仲間を巻き込んで、より大きな活動へ

石黒 進めていく過程で一体感が出てきたんですね。ワーキングチームでの議題や決定をそれぞれの会社や職場に持ち帰っての活動についてはいかがでしたか。

松山 当時、翔薬はグループの一員になってまだ日が浅かったこともあり、翔薬からグループにアピールできるもの、貢献できるものになりたいという想いが社内では強かったですね。

山本社長 翔薬は支店全体を巻き込んで、他にはないユニークな活動をしていましたね。

松山 「スズケングループ経営理念構築アンケート」というメールを配信して社内の多くの方の意見を聞きました。「自分が考える良い会社とは」、「グループとして目指すもの」など一人ひとりの考えを知ることができました。

入江 職場の同僚たちも、「今どうなってるの?」など気にかけてくれて、行き詰まっている時など気軽に相談できました。

深町 入社2年目の私が



支店の皆さんの前で、グループ経営理念の必要性やチームの考えを説明することもありました。自分自身が理解していないと説明ができません。経営理念についても勉強し、自分たちでつくるのだという意識を強く持って説明するようにしました。そのあたりから、私自身の取り組み方も変わってきた気がします。

松山 返ってきたアンケートを読んでいくうちに、「やらなきゃ!」という気持ちになっていきました。思った以上にまわりの方々が真剣に考え、取り組んでくれました。



石黒 自分が投げかけた以上に、大きな反響が返ってくる。それが力になったのですね。

山本社長 やはり皆さん、最初のボタンをかけるまでは苦労しましたね。

富田 チーム案をまとめる頃には、お互いに本音を出せるようになりました。「うちはメーカーですが、卸としてはこういう方向じゃないですか」など、相手の企業風土を理解した意見も出てくるようになりました。「チームに参加していない会社の話をもっと聞きたい」という意見もありました。



チーム案の策定で気持ちがひとつに

石黒 そして各チーム案がまとまっていくのですが、チーム案を決める上でのポイントはどこでしたか。

佐藤 各社の案にはそれぞれの視点がありました。たとえば薬局なら患者さまへの想いが前面に出た案。わたし達エス・マックスなら情報。卸やメーカー、それぞれの立場の違いが強くて、絞り込むのに苦労しました。そこで、一つを選ぶのではなく核になるキーワードを選び、それをチーム案として再構築することにしました。その時、チームが一つになれた気がします。

富田 締切は迫っていましたが、無理にまとめたくありませんでした。そんな中、ほとんどの案に共通していたのが『笑顔』でした。どの会社、どの年代でも笑顔を大切にしていることがわかり、そこに一体感を感じました。残念ながらわたし達のチーム案は採用されませんが、『笑顔』という想いはグループ経営理念に昇華できたと思っています。

松山 アンケートにはたくさんの意見がありましたが、キーワードを選んでいくと「笑顔あふれる会社」、「つねに笑顔でありたい」など『笑顔』が浮かび上がってきました。チームのみんなで、これはもう『笑顔』しかないよねと意見が一致しました。そんな時、『SMILE』の頭文字で理念を表す案を出したのが、入江さんと深町さんでした。

石黒 グループ経営理念のバリューにある『SMILE』の

提案は、九州チームからでしたね。

深町 もともと翔葉の行動指針が、それぞれの頭文字をとって読ませるもので、そのわかりやすさや翔葉らしさを活かしたいと思いました。

入江 まず『おもてなし』というキーワードで考えていたのですが、『笑顔』をグローバルにも発信できる『SMILE』案を思い付き、チームとして提案しました。

圧倒的に多かったキーワードは『笑顔』

石黒 皆さんの想いが込められたチーム案をプロジェクト案として選ぶ際に決め手になったのは何でしょうか。

山本社長 圧倒的に『笑顔』というキーワードは多かったですね。お得意さまの笑顔、患者さまの笑顔、社員の笑顔、みんなやはり『笑顔』の大切さをつね日頃から感じていたのですね。4月の入社式での発表に間に合わせようとスケジュールが迫る中、何案もマークやデザインをつくり、検討しました。マークにある笑顔に見立てた筆文字の線は別所会長にお願いしました。会長も、絶対にグループ経営理念を策定するのだという強い意志をお持ちで、墨のすり方や筆の運びを何度も練習されたようです。会長の決断やバックアップにも助けられました。会長に筆文字をお書きいただく場に立ち会いましたが、全国各地でお会いした皆さんの想いが結実したと感無量でしたね。

石黒 まさに新入社員から若手、中堅、管理職、役員まで、全国のグループ会社の想いが一つになってつくりあげられたわけですが、最終案を見た時の感想は。



入江 自分たちが何度も意見を交わし、考えたものが全国のグループ各社に受け入れられ、共有されていくことに興奮しました。

深町 採用と聞いて、すぐにご協力いただいた支店の方に報告しました。みんなでつくったという気持ちが強かったのうれしかったです。

石黒 それぞれのステップで、話し合いの輪が広がり、

仲間が増え、想いが一つになって生み出されたものがグループの顔となる。それができる組織、会社、グループというのはすばらしいと私は強く思います。

参加する場をつくる。それがグループの力になる

石黒 もし今後もこのような全グループでの取り組みがあれば、皆さんは参加されますか。

佐藤 ぜひ参加したいです。今もチームメンバーは仲間という意識があります。そんなつながりを他の社員の方にも感じていただきたいです。グループシナジーとは、人のつながりから生まれるものだと思います。

入江 グループの一員であることを自覚でき、自分の会社についても深く知ることができました。ぜひ、また参加したいです。



松山 すべての人にこういうチャンスが与えられるグループであってほしいです。社員の意見が反映されることで、仕事へのモチベーションも高まります。

深町 人材開発課に異動になり、グループ会社の方とお会いする機会が増えました。このプロジェクトに関わった方も多く、共通の話題で盛り上がるができます。グループの仲間意識を高める機会には、積極的に参加していきたいです。

富田 私は参加するより、参加する場をつくる役目を果たしていきたいと考えています。スズケングループが本当に社員一人ひとりの想いを受けとめ、しかも実際にカタチにしていく行動力に感銘を受けました。わたし達はこれから、そういう機会を待つのではなく、



つくっていく立場だと思います。自分の職場だけでなく、グループのあらゆる人と交流することをあたりまえにしていきたいです。

グループ経営理念に魂を入れていこう

石黒 グループ経営理念は現在、皆さんの職場でどのように活かされていますか。

入江 実は翔葉では創立10周年事業を計画しており、その企画実行委員に選ばれたのですが、みんなの中から自然に『Thank you for Smile』というテーマが出てきました。着実にグループ経営理念は浸透していると思います。



富田 私の部署は新設で、ゼロからの決定を求められることがあります。そんな時、まずグループ経営理念に合致しているか、そしてスズケンの経営理念、本部や部署の方針とぶれていないかという考え方を大切にしています。

山本社長 みんなでつくりあげるといって、今回の大きな目的は果たしたと思います。これからはグループ経営理念に魂を入れていくことが大切になります。個々の仕事に励むことはもちろんですが、同時にグループの中での役割を感じながら進んでほしいですね。そして、先輩から後輩へ、次の世代にも言葉としてだけでなく、行動で示していきましょう。

石黒 グループCSRの目指すべき方向も、「すべての人々を笑顔に」というグループ経営理念の実現にあります。その策定過程を振り返ることで、あらためてグループ社員一人ひとりの想いやグループの総合力を感ずることができました。皆さんの想いは、グループCSRに脈々と受け継がれていきます。グループCSRを通し、グループ経営理念に魂を入れていくことで、それぞれの地域でより多くの『笑顔』の花を咲かせていきたいですね。

本日はどうもありがとうございました。

期待に応え、ともに歩む

スズケングループは総合力で進化し続ける

めまぐるしい環境変化の中で、わたし達スズケングループを取り巻く人々の期待は大きく変化してきました。そのような中、わたし達は「すべての人々のお役に立ちたい」という「想い」を共有する仲間とグループを形成し、今も進化を続けています。それぞれの事業領域や地域で強みを持つ仲間が独自性を発揮しながら有機的に連携し、グループを形成することから生まれる総合力。その力を発揮することで、「健康創造企業」として医療・健康にかかわる幅広い領域において新たな価値を創造し、すべての人々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献できると信じています。そして、これからもお得意さま、地域社会とともに、発展していきたいと考えています。

■…医薬品卸売事業 ■…医薬品製造事業 ■…保険薬局事業 ■…医療関連サービス事業 ■…医療機器製造事業 ■…その他の事業

「お得意さま」とともに

スズケングループは、お得意さまの期待にお応えするため、お得意さまの立場になってさまざまな製品・サービスを提供してまいりました。わたし達は、お得意さまにとってなくてはならない存在になりたいと考えています。

業界初トレーサビリティ(追跡調査)を可能とする独自の物流システムを構築

㈱スズケン、医薬品卸として初めてトレーサビリティを可能とする独自の物流システムを導入。お得意さまの安全・安心のために品質管理を強化。

OSDrC®技術の開発

㈱三和化学研究所は、OSDrC技術(One-Step Dry-Coating:新規錠剤成形技術)の開発により、より高い品質の製剤をリーズナブルに製造することに成功。内核を2つ持つ分割型有核錠など、患者さまや医療機関からのニーズにお応えした多種多様な付加価値の高い製剤が可能に。

品質マネジメントの国際規格「ISO9001」の認証取得※1

スズケングループは、高品質の製品やサービスをお得意さまへ提供し続けられるよう品質管理を強化。

※1：㈱スズケン(ケンツメディコ)、㈱三和化学研究所、ケンツメディコ(株)、㈱ファーコス、㈱コラボワークス、中央運輸(株)で取得。

医薬品の開発

㈱三和化学研究所は、「糖尿病治療のベストパートナー企業」として患者さまに寄与。また、患者さまにとって飲みにくい医薬品をゼリー状に剤形変更し、飲みやすい医薬品へ改良。

国内初「カプセル内視鏡」の発売

㈱スズケン、カプセル内視鏡を日本販売代理店として提案。カプセル型の内視鏡を飲むだけで小腸検査が可能になり、患者さまの肉体的、精神的な負担が軽減。



スズケングループは、お得意さま、地域社会、仲間とともに発展してきたんだね。

1972.7
■ ㈱スズケン沖縄

1964.10
社名を「㈱スズケン」に変更

1932.11
鈴木謙三商店創業

記載年月は、子会社化および合併日付を表記。

「仲間」とともに

スズケングループは、個性と強みを持つ仲間が同じ志のもとに集まり、大きな企業集団へと進化を遂げてまいりました。その「志」には、「すべての人々のお役に立ちたい」という「想い」が根底にあり、今も進化し続けています。



「地域社会」とともに

スズケングループは、社会の一員として地域社会の期待にお応えするためにさまざまな事業や取り組みをしてまいりました。わたし達は、地域社会にとってかけがえのない存在になりたいと考えています。

市民講座の開設

㈱スズケン、医療・健康にかかわるグループ企業体として、身体の健康だけでなく「こころの健康」にも役に立ちたいと考え、NHK文化センターと市民講座を共催。

特定検診・特定保健指導の支援業務開始

2008年4月、特定検診・特定保健指導が義務化。㈱スズケン、ヘルスサポート事業部を新設し、質の高い保健指導をサポート。

小規模多機能型居宅介護施設を併設したグループホームを開設

認知症高齢者の介護が大きな社会問題となる中、サンキ・ウエルビィ(株)は行政から事業者指定を受け、山口県周南市で2007年4月にグループホームを開設。2008年1月には島根県出雲市で小規模多機能型居宅介護施設を併設したグループホームを開設。

※2：㈱スズケン(本社、東京事務所、戸田物流センター、阪神物流センター、江南物流センター)で取得。

※3：㈱スズケン、㈱サンキ、㈱三和化学研究所で取得。

環境マネジメントの国際規格「ISO14001」の認証取得※2

㈱スズケン、将来の世代に渡って健康で豊かな生活ができるように環境保全に取り組み、省資源・省エネルギーなどの活動を推進。

次世代育成支援認定マーク「くるみん」の取得※3

スズケングループは、ワーク・ライフ・バランスの観点から子育て支援をはじめ、従業員の仕事と家庭生活の両立を積極的に推進。

お得意さまの笑顔がうれしくて

お得意さまの期待に一生懸命お応えしていたある日、出会えた素敵な笑顔。そんなエピソードを紹介します。次はあなたが素敵な笑顔に出会う番です。

お得意さまの期待に一生懸命お応えしてきたから、たくさんの笑顔をいただけたんだね。



深夜の急配で出会った、Smileの力

株スズケン 大阪営業部 堺支店 病院課 **小島 桂一**

仕事柄、休日の夜でも病院さまからの急配の要請で医薬品を配達することがあり、正直辛いと思うこともあります。

しかし、実際に病院に行き、当直の先生方のご苦勞を間近で見ると、私の苦勞などはとても比較にならないと感じるのです。大規模な病院でも、当直の医師や薬剤師の方々の人数は最小限に抑えられ、激務をこなされている姿にはいつも頭が下がります。

深夜に医薬品をお届けすると、どの先生からも「本当に助かった、ありがとう」と、満面の笑顔で応じていただけます。この笑顔を見るたび、私はいつも感激し、「大変でも来て良かった」という充実感が満たされるのです。自分達の仕事

が、医療の底辺を支えているのだと実感できる瞬間でもあります。そして時折垣間見ることのできる先生方の笑顔から、私が「元気」を分けていただいている気がして、こちら感謝の気持ちでいっぱいになるのです。

後日、「あの時は本当にありがとう。おかげで患者さまも一命を取り留めました」と改めて感謝され、そこから薬剤部との信頼関係がさらに強固なものになった経験も少なくありません。

すべての苦勞を忘れさせてくれるSmileは、お得意さまとの信頼を築く大切な力でもあります。



ありがとうの言葉で噛みしめた、責任とやりがい

株翔葉 販路統括部 病院部 カプセル内視鏡課 **北原 祐治**

医療機関での医療機器業者の立会いは1つの病院で4回までという基準があります。ある病院の依頼で、カプセル内視鏡検査に患者さまの同意を得て立会いをした時の出来事です。

いざ検査となったとき「こんなに大きなものを飲むだろうか？」との不安を口にされました。検査担当の先生から改めてカプセル内視鏡検査が従来の検査に比べていかに身体的負担の少ない検査であるか説明していただき、患者さまの不安をできるだけ解消しながら飲み込んでいただきました。8時間が経過し、無事に検査は終了となりました。数週間後、再び病院を訪ねた時、偶然にその患者さまと遭遇したところ、「ありがとう。検査を受けて本当に良かった。

これから病気と闘います」と、笑顔で声をかけられました。医師から小腸に腫瘍があるとの告知を受け、手術を受けることになったということでした。

もしカプセル内視鏡検査を受けることがなかったら、そして、その前にPRしていなかったならば、患者さまはどうなっていたらと考え、私の仕事の責任の重さを改めて噛みしめる経験となったのです。そして、あの患者さまの「ありがとう」という言葉と、笑顔を思い出すたび、責任の分だけ、同時に大きなやりがいも感じています。

この事業に関われたことを誇りに思いながら、丁寧な説明を心がける日々です。



介護に対するイメージがもっと変わっていくことを信じて

サンキ・ウエルビ(株) 事業本部 在宅サービス課 **大曾根 博樹**

私は、これまでいろいろな病気や事情によって在宅介護が必要になった方々にホームヘルパーとして支援を行ってききましたが、その中で特に印象に残った方を紹介します。

その利用者の方は、84歳、軽度の認知症で脊髄に病気があり、ほぼ寝たきりといった状態でした。自宅の隣にご家族が住んでいるのですが親子関係がうまくいっていないようで、ご家族から介護されることを拒否していらっやいました。私は、毎日2回、食事の支援と排泄介助を中心に訪問。初めは男性である私に対して、「あんた男のくせに、こんな仕事してバカじゃないの?」と言われ、介護に対してかなり否定的でした。支援を続けていくと、十分な栄養や水分を摂ること

ができるようになり、体力がついてきました。すると少しずつ生活が前向きになり、発言も穏やかになっていきました。介護に対する受け入れもよくなり、笑顔が多く見られるようになりしました。それまでご家族による介護を拒否されていましたが、少しずつご家族に対して感謝の言葉が出るようになってきました。こうした変化を一番喜んでくださったのは隣に住むご家族でした。ご家族の方から「あなたと出会い、介護に対する価値観が変わった」と言われた時は本当にうれしかった。

今後も介護を通して利用者、家族の皆さんへこのような笑顔を広げていきたいと思えます。



パーキンソン病と闘う患者さまと、心が通じた喜び

株ファーコス 西部第二ブロック **石野 由美**

50代女性のパーキンソン病患者さまとの出会いについて紹介します。来局された当初は、歩行困難で、待合室に入ることもできず、非常に苦しい様子に見受けられました。

また、若くして発症した苛立ちからか、わたしたちの接遇や服薬指導に対して、厳しいお言葉をぶつけられることも、しばしばありました。しかし、こちらも一生懸命にパーキンソン病についての勉強を重ねて、お手紙や電話による対応を丁寧に続けたところ、やがては待合室に自力で入ってこられるほどに回復されたのです。そんなある時、その患者さまに、「ずいぶんと、良くなりましたね」と声をおかけ

したことがありました。すると、患者さまの顔が今まで見たことのないほどに輝き、「この薬局は私の心の支えです。本当にありがとう」と言ってくださったのです。

次の瞬間、患者さまも、薬局のスタッフも、全員の表情にパッと笑顔が咲きました。本当に良かった、と胸にこみ上げる想いがありました。最初は、あの笑顔を想像できないほどにお辛そうで、いつもピリピリされていた患者さまと、心が通じた瞬間。そのうれしさを私は忘れることはないと思います。

その後、患者さまは転院され、当薬局が遠くなったにもかかわらず、今も来てくださっています。

仲間の笑顔に支えられて

同じ思いを持った仲間で助け合えば、もっと頑張れる。もっと笑顔が、増えてくる。そんなエピソードを紹介します。新しい時代の、新しい貢献は、頼もしい仲間とならば、きっと実現できるはずです。

仲間と協力すれば、
こんなにたくさんの
笑顔が生まれるんだね。



信念を持って立ち上げたセミナーで築いた、 確固たる基盤

（株）三和化学研究所 営業企画推進部 **山本 和生**

「東京糖尿病治療セミナー」を立ち上げたのは、私が東京支店長だった頃です。当時から弊社の小型血糖測定器「グルテクト」がシェアNo.1だったこともあり、社会への責任を感じていましたし、「糖尿病患者さまのために何かお役に立ちたい」という想いを強く持っていました。そうした中、思いついたのが、糖尿病専門の先生と、実地医家の先生との勉強会を企画することで、両者の連携を深め、治療レベルを上げることは、糖尿病患者さまのためにもなります。スズケンの東京の営業部長、副部長に協力を依頼すると、二つ返事で引き受けてくれました。

セミナーを立ち上げるにあたって、当社は大学病院の糖尿病専門の先生方にご協力をお願いに上がり、スズケンは、医薬品

卸のネットワークを駆使して実地医家の先生方にお声をかけ、一軒、一軒、本セミナーをご紹介すべく、地道な訪問活動を展開しました。新薬PRのためのメーカー主導のセミナーが多い中、病態に応じたきめ細かい治療法を学べるセミナーは初めて。「双方向性」の“学ぶ”セミナーとして高い評価をいただき、3カ月毎に開催を続けてきました。それから10年。強い信念でまいた種は、軸をブレさせないことで脈々と育ち、広く深い根を張り巡らせています。この確固たる基盤こそ、わたし達スズケングループの財産だと思います。共に汗をかいた方々は今も大切な仲間であり、先生方の喜んでいただける顔を見るたび、新鮮な感動があります。



仕事と育児の両立は、周囲の支えがあるからこそ

（株）三和化学研究所 熊本工場 品質試験グループ **徳山 裕美子**

昨年5月に出産し、産前・産後休暇と育児休暇を合わせて半年のお休みをいただきました。復職後は育児時間をいただき、仕事と慣れない育児をなんとか両立させることができている。私は品質試験を行う部署にいるため、終業時に器具の洗浄や片づけに時間がかかるのですが、同僚が「片づけはやっておくから、早く帰ってあげなよ」と言ってくれます。

翌日は、片づけた器具を元に戻すことから仕事が始まるのですが、育児時間で遅れてくる私に対して、誰一人嫌な顔をする人がいません。人々の健康につながる医薬品をつくっている職場であり、女性の多い職場でもあるためか、

子供が熱を出して急に休んでも、「小さいうちは、よく熱を出すもんね。大丈夫?」とやさしい言葉をかけてくれます。上司の奥さまがやはり仕事と育児を両立してこられた方で、アドバイスをいただけるのも助かります。

先日、毎日帰りが遅く、育児も家事もなかなか参加できない夫から、「いつもありがとう」と言われました。聞きなれない言葉に驚きましたが、久しぶりにお互い、心から笑顔になりました。「ありがとう」という言葉にはすごい力がありますね。

私も、職場の方々へのありがとうの気持ちでいっぱいです。この大好きな職場のためにも、仕事で応えていきたいです。



誠意だからこそつながる、笑顔のバトン

（株）スズケン 茨城営業部 水戸支店 病院課 **菊池 士郎**

営業部内の異動で勤務する支店が変わり、新たに担当してお得意さまを訪問し始めて二週間程たった頃です。突然、病院薬剤科の主任さまから声をかけられました。「スズケンは誰が来てもキチンとしている。若い薬剤師にもしっかりと挨拶してくれるし」と言われました。横にいらしゃった薬剤科長さまも一緒になって「きっとスズケンの社風なんだろうね」とお褒めいただいたのです。私があまりのことに恐縮していると、「そういうところが、スズケンさんらしいよね」と、他の薬剤師の皆さんも、笑顔でこちらを見ておられました。

私がこうして声をおかけいただくまで、何人ものスズケン担当者が訪問したはずですが、変わらぬ姿勢や態度で

誠意をお伝えしていたことがわかり、その頼もしさに胸がいっぱいになりました。担当する一人ひとりが笑顔を送り、送られていたのだと想像したとき、私自身の心の深い部分にまでSmileが染みていくのを感じずにはられませんでした。

営業だから笑顔を見せるのでは決してなく、誠意を持って接する姿勢があるからこそ、自然と笑顔になって表れ、伝わったのだと思います。これからもスズケンらしい社員だと言われることに誇りを持って、お得意さまに接していきます。そしてやがて来る次の担当者へと、笑顔のバトンを渡したいのです。



医療食の情報共有、人の絆で笑顔も共有

（株）スズケン ニュートリション部 ニュートリション企画課 **吉村 一郎**

2009年、スズケンでニュートリション部が発足しました。その際、新設部署のため教わる先輩がいないという問題がありました。そこで、医療食事業に10年前から取り組んでいるグループ会社の翔薬からノウハウを学ぶことを思い付き、スタッフの栄養士たちがOJT研修をさせていただきました。

会社は違いますがグループの仲間意識があり、また同じ栄養士であり、抱える問題も似ているため、お得意さまへ同行訪問させていただく中で実践的で貴重なアドバイスを数多く受けることができたという話を聞いて、とても心強く感じました。数日間、一緒に行動することで、お互いの親近感が深まり、研修後も電話やメールで「このような状態の患者

さまに対して、どんな製品が良いか?」とか、「私のお得意さまは、こんな取り組みをしているよ」など、本やインターネットでは得られない事例や情報の交換を続けているそうです。栄養士が医療機関や介護施設へ情報を提供させていただくことに対し、お得意さまから好評をいただいておりますが、その期待が大きくなる一方で、各営業部に1人しかいない存在であるため、横のつながりによる密接な情報交換が大切になってきます。先日、学会に参加した際には、グループ各社の医療食担当者と再会を果たし、笑顔を交わすことができました。

今後はグループ内のアスティスやサンキの担当者とも絆を深めながら、笑顔の輪を広げていけたらと思っています。



地域社会の笑顔を大切に

お役に立ちたいという想いから、大きな力を出してみた。小さな気配りをしてみた。そんなエピソードを紹介します。
お役に立てるといふ手応えをつかんだとき、さらなる力が湧いてきます。



スズケングループなら
もっといろんなことが
できそうだね。



その向こう側で、患者さまが待っているからこそ

(株)スズケン サプライチェーン事業推進部 事業推進一課 居城 春雄

福岡にいたときに、振込みで銀行の窓口へ行き、窓口の女性の方からいきなり、「スズケンの方ですか?」と声をかけられたことがあります。外し忘れていた胸のネームプレートから判断したらしく、驚きながら「はい」とお答えすると、「先日、地下鉄サリン事件に関する報道番組をテレビで拝見し、とても感動しました。素晴らしい会社ですね」と笑顔で褒めてくださいました。その番組で紹介されたのは、事件の直後に200人以上もの患者さまを受け入れた聖路加国際病院と、スズケンのエピソード。治療に必要な「パム注射液」が20人分しかなく、スズケンへの緊急納品の要請が来ました。急いで物流担当者が各倉庫へと指示を出し、

新幹線の「こだま」に飛び乗りました。名古屋から東京までの停車駅ごとに最寄りの支店の社員に「パム注射液」を駅まで届けてもらい「パム注射液」をかき集める作戦を執行。なんとか230人分を集め切って、お届けすることができたのです。

私自身、これまで緊急の仕事を引き受けてこられたのは、その向こう側で患者さまが待っているからです。そして一人でも多くの患者さまやご家族の方々の力になりたい、いや、なれるはずだと強く確信しているからです。銀行の窓口で出会った笑顔に励みとし、これからもスズケンの誇りを胸に、社会への責任を果たしていきたいと思っています。



すべての笑顔が、やがて信頼へと育つことを信じて

(株)ファーコス のぞみ薬局須田町店 佐藤 優子

薬局の第一の利用者はもちろん、処方せんを持った患者さま。私の勤務する薬局の場合、次に多いのは道に迷った方で、1日に1人はいらっしゃいます。すぐ近くにコンビニがあるのに、わざわざ薬局に来てくださるのは、「薬局」に社会的な安心感を持っていただいているからなのかもしれませんし、地域に貢献したいという日頃からの想いが伝わっているのかもしれません。

「のぞみ薬局須田町店」では、道案内用の大きい地図1枚と地図帳2冊をご用意しています。地図でご説明し、時にはコピーを、時にはインターネットで調べた資料をお渡ししています。行く先のわかった方々は、わたし達にもれなく笑顔

をくださいます。その笑顔がうれしくて、尋ねられる回数の多い場所は専用の地図を用意し、迅速にコピーをお渡しできるように準備しています。「薬局」という看板が導いてくれる、見ず知らずの方々との、もしかしたら一度きりの接点。でもそれは、笑顔を紹介した素敵な出会いとなるのです。それは医療ではありませんが、困っている方々を笑顔にするという点では共通しています。

本日も「のぞみ薬局須田町店」では、どこの医療機関の処方せんをお持ちでなくても、道に迷った方々を笑顔でお待ちしています。地域に根ざしたコミュニケーションが、やがて大きな信頼へと育ってくれることを信じて。



新型インフルエンザの正しい知識を、地域に伝えるという使命

(株)スズケン 薬事管理部 東北薬事課 山口 誠一

昨年、地区公民館長さんから、「山口さんは薬剤師でスズケンに勤めているんだよね?ここは、老人が多い地区なので、新型インフルエンザが流行すると大変。予防について話してくれないかな」との依頼がありました。

地域の方々のためになればと即座に了解しました。2週間後、公民館には地区住民の4割に相当する人々が集合。スライドを使って、「手洗い、うがい、マスク、薬、早めの受診、人混みは避ける」など特に気をつける事について説明しました。来てくださった方々は、マスコミ報道が先行していたためか、一様に引きつった表情で聞いていらっしゃいましたが、「話したことを守り、普段の生活をしていれば大丈夫」と伝えると、徐々に落ち着いた様子になり、最後は

笑顔も多く見られました。皆さん詳しく聞くのは初めてだったようで、家族へ伝えようと懸命だったのでしょう。質問が多く、予定の倍を超す時間を費やしたにもかかわらず、誰一人として途中で帰る人はいませんでした。

終了後、参加された住民の方々から「ありがとう」との感謝の言葉を、また参加されていた地区内の医師からは、「わかりやすかったよ」と、お褒めの言葉をいただくことができました。後日、地区内の3軒の医療機関の医師から、「地区内の方で新型インフルエンザで受診した人はいなかった。新型で来院された患者は地区外の方だけだった」とのこと。

このような活動も薬剤師、医薬品卸の大切な使命だなど痛感し、これからも頑張ろうという力が湧いてきました。



笑顔を磨き広げていく努力、それが社会への貢献につながる

(株)スズケン 愛生館営業部 営業推進一課 竹谷 雅一

(株)スズケン 薬事管理部 北海道薬事課 香山 由佳

わたし達にとって忘れられないスマイル、それはある大学の薬学部3年の学生さん16名を4日間、実習生として受け入れた時のことです。

スズケンを理解してもらうためのプログラムの一つとして、実習スケジュールの中に「TALK ABOUT SMILE. 皆で笑顔について語り合おう」というテーマを掲げ、スズケンの新入社員10名と学生さんがディスカッション形式で笑顔について語り合いました。このプログラムを設けたのは、彼らが大学を卒業後、薬剤師としてさまざまな業種で仕事をする時に、対面する人に安堵感や安心感を与えるものは笑顔だろうということを、わたし

達が確信していたからです。活発なディスカッションの後にたどり着いた結論は、「みんなで若々しい笑顔を磨く努力をして、社会に貢献しよう」という、シンプルで、それゆえに奥深いものでした。

4日間の全プログラムが終了した後、何人かの学生さんから、「スズケンのファンになりました。卒業後はぜひ入社したいと思います」といったうれしい言葉と、とびきりのスマイルをいただきました。そしてその輝くばかりのスマイルは、実習でわたし達が伝えたかったことの一つでもあるスズケングループの理念が、確実に伝わった証のように思えました。今も忘れられない、大変印象深い経験です。



スズケングループ

Smile宣言

「健康創造企業」として医療・健康にかかわる幅広い領域で、スズケングループの「顔」として重要な役割を果たしている各社トップのCSRに寄せる「想い」、各社の果たすべき役割とグループとしてのシナジー効果、そしてこれからの目標を紹介します。

医薬品卸売事業

株式会社スズケン

真に社会に 誇れる会社を目指し、 全員営業で 挑戦し続けます

代表取締役社長

太田裕史



CSRによって具現化する「創業のこころ」

創業のこころ「世のため、人のため」は脈々と受け継がれ、この先も引き継いでいかなければなりません。CSRはこの理念を具現化するものであり、スズケングループ全社が一枚岩で取り組むべき活動だと位置づけています。

スズケンの事業展開の根幹にあるのは「患者さま起点」「お得意さま起点」の考え方です。最も尊重すべき「命」に関わる医薬品の流通を担うわたし達は、患者さまに医薬品が安全・確実に提供され、その使命が全うされて初めて責任を果たしたと言えます。そのために、製薬企業と医療機関・保険薬局の間の医薬品の流れをいかに安全でスムーズにするか、情報をいかに正確・公平に提供するか。医薬品卸として果たすべき役割と責任の追求に終わりはありません。

お得意さま起点に立った「全員営業」

スズケンでは、営業担当者だけでなく内勤者や配送担当者も含めたすべての社員が一丸となって顧客満足度の向上を目指す「全員営業」を共通の行動指針として掲げてきました。その精神は着実に定着し、今では各職場で毎月開催される「全員ミーティング」へと発展。部門や階層の壁を破って議論し、お得意さま満足度向上のためのエンジンとなって機能しています。来客に背を向けて座っているのは全員営業ではないとの意見に、すぐさま机の配置を変えた支店もありました。

お得意さま起点は、当社の物流体制にも色濃く現れています。全国9拠点の物流センター、8拠点の商品センター

による物流構想は、お得意さまが「必要な時」に「必要なところ」へ「より早く」お届けしたいとの想いを形にしたものです。また、保険薬局に対する人材育成支援は、大切な薬をそこで受け取る患者さまへの支援でもあります。服薬指導やコミュニケーションスキル向上のための研修教材を開発し、全国各地で研修会を開催していますが、実践に役立つと好評価をいただいています。

お得意さまや、地域社会が抱える課題やニーズに対し、スズケンとしてどうお役に立つか。お得意さまや地域社会の最も近くにいる各支店の社員が主体的に考え、実践していくことが、「地域密着全国卸」たるスズケンのCSR推進の原動力です。多様な価値を提供する全国のグループ会社とのさらなる連携強化によって、スズケンだけではなし得ない、より大きな、より新しい価値を伴う社会への貢献が実現できると確信しています。

信頼の源泉は「人」

本当に強い会社は、社会から信頼される会社であり、信頼される社員がどれだけいるかで決まります。そのためにも働きがいがあり、お互いに刺激し合い、高め合える職場環境をつくるのが大切です。社員一人ひとりの力の結集がスズケンの力となり、企業としての信頼と価値の向上をもたらす、それはまた社員や地域社会へと還元されます。社員が「勤めて良かった」と思い、家族や社会からも「良い会社だ」と言われる会社であり続けたい。「真に社会に誇れる会社」としてその存在意義を高めるために、これからも怯むことなく挑戦していきます。



医薬品卸売事業

株式会社スズケン沖縄薬品



代表取締役社長

早川 正人

「ゆいまーる」でグループの総合力を高める

沖縄には“助け合い”を意味する「ゆいまーる」という言葉があります。「ゆいまーる」は、グループ経営理念に相通ずるものと私は考えています。“助け合い”によってグループの総合力を高め、お客様にとってなくてはならない存在になりたいと思います。日々の業務の中で、お客様に対して、医薬品の安定供給や医事・薬事などの業界情報を他社よりも早く提供できるなど、グループの総合力を実感することは数多くあります。特に陸続きではない沖縄では、医薬品の安定供給は最優先課題です。いかなる時でも離島も含めたすべての地域のお客様に医薬品を安定供給することが、わたしたちの第一の役割であり、社会貢献になると考えています。お客様に信頼され、今以上に沖縄という地域になくてはならない存在になることを目指します。

医薬品卸売事業

株式会社サンキ

中国地方の地域医療発展に、総合力で貢献

中国地方全域をカバーする、医薬品卸としての強固な営業基盤。時代の変化とともに多様化、高度化するニーズに迅速に対応する柔軟性と開拓精神。それが当社の強みです。お客様のお困り事に何とかお役に立ちたい、患者さまとのつながりをもっと深めたいとの思いから、治験^{※1}・卸・SPD^{※2}・調剤・介護など多角的に展開。それらを今後さらに有機的に連携させることで、地域医療の発展に大きく貢献していきます。そして、この地で築き上げたノウハウや情報をグループで共有することによって、グループの総合力強化と更なる価値向上に貢献できると思います。売上高は社会貢献の、利益は顧客満足のバロメーターだと私は考えています。お客様の喜びが利益に表れ、地域の活性化につながる。当社の事業活動そのものが社会貢献であることを誇りとして、「サンキの一員で良かった」と社員が実感できる会社であり続けたいと思います。

※1 治験：新しい医薬品や医療機器の製造販売にあたり、薬事法上の承認を得るために行われる臨床試験
 ※2 SPD：医薬品や医療材料等、病院内で使用する物品を一元管理し、院内業務の効率化を図るシステム



代表取締役社長

木村 曠

医薬品卸売事業

株式会社スズケン岩手

強い絆から生まれる連携を力に地域医療へ貢献

当社のMS[※]30名(男性23名、女性7名)の平均年齢は31.3歳と若く、全員が岩手県出身です。岩手は日本一面積の広い県であり、急配などへの対応が難しい地域です。そのため物流の効率化や納品リードタイムの短縮化などの課題があります。その課題を克服する原動力は「人」であると考え、グループの教育制度やノウハウを活用した人材育成に力を入れています。若い社員たちが仕事のスキルをアップさせ、人間的にも成長してくれる2、3年後が楽しみです。一人ひとりが自分の仕事に問題意識を持って取り組み、互いに連携し、解決することでお得さまから強い信頼が得られるはず。私の使命は、やりがいのある職場・持てる力を最大限に発揮できる環境をつくることです。地元を愛する社員が一丸となって地域医療への貢献度No.1 医薬品卸を目指します。

※MS：医薬品卸の営業担当者、マーケティング・スペシャリストの略称



代表取締役社長

丹羽 道治

医薬品卸売事業

株式会社アスティス

笑顔が売ることが、お客様への第一歩

「ものは売れなくても、笑顔が売ろう」。これは日頃、私が従業員に話していることで、何十年変わらない当社の姿勢でもあります。お客様とのつながりで大切なのは印象。特に笑顔だと思います。ですから「Smile」も自然と社内に浸透しています。当社では、医薬品卸は医療を担う一員であるとの考えに基づき、365日24時間お客様にご満足いただける体制を目指しています。グループのフルラインによる商品調達力と各社とのノウハウの共有は、そのための大きな力です。会社は地域に支えられ、根付いてこそその存在。今後は地域に密着した医薬品卸として、ニーズにきめ細かくお応えするとともに、グループ全体で世界市場への進出という大きな視点も兼ね備えていきたいです。それが次代を担う若い従業員のモチベーションになっていくと思います。



代表取締役社長

佐田 皓二

医薬品卸売事業

ナカノ薬品株式会社



代表取締役社長

天野 桂一

存在感のある医薬品卸になること、それが真の社会貢献

栃木県で存在感のある医薬品卸になろう。私はつねに社員にそう呼びかけ、地域におけるシェア拡大という目標を掲げています。シェアとは、お客様の評価とメーカーさまの信頼があって初めて獲得できるもの。当社の存在感を表す指標とも言えます。存在感を高めるためにはグループ力は不可欠です。圧倒的な商品アイテムと流通網、情報を活かしたサービス、そして教育研修。グループ力はさまざまな部門に活かされています。例えば、今年度スタートの診断薬課では、スズケンの診断薬部から教育係を招聘。また当社の医療機器担当者がスズケンで研修するなどの交流も生まれており、グループでの研修の共有は、社員のレベルアップに大きく役立っています。さらに社業を発展させ、存在感を高めることで、地域の医療と健康になくてはならない会社となる。そのことが、当社にとっての真の社会貢献だと考えています。

医薬品卸売事業

株式会社翔薬

真の地域密着から生まれる新しい提案

当社らしさ、それは真の地域密着です。医薬品卸として地域医療を支えることはもちろん、長年、九州各地域の産学官と深いつながりを築いてきた企業の集合体として、地域の経済活動になくてはならない存在にまでなっています。まさに九州を代表する、地域に根ざした企業です。つながりの広さ、深さからさまざまな情報やニーズが集積。そこから新しいビジネスモデルも生まれています。たとえば、チーム医療推進の動きが高まる中、ニーズを先取りした医療食販売もその一つ。各営業部に医療食専任の栄養士を置き、きめ細かな対応で九州ナンバーワンシェアを獲得。グループの医療食事業との連携もさらに進んでいくでしょう。これからも九州に根ざし、各地域で従業員一人ひとりが考え、行動することで、より早く、効果的に地域のニーズに応えていきます。



代表取締役社長

平田 次雄



医薬品卸売事業

神宮薬品株式会社



代表取締役社長

溝田 隆祥

地域のお役に立つことが創業以来の志

当社は診断薬に特化した卸です。戦後、地元三重で入手困難だった診断薬を先代社長が大阪から仕入れ、病院のニーズに応え、喜んでいただいたことが始まりです。地元では「神宮さん」と呼ばれ、頼りにしていただいています。私自身もお得意さまから本名で呼ばれたことはありません。当社の従業員は、お得意さまの依頼に対して「自分がやらなければ、他ではできない」という創業時の志と同様、高いモチベーションで取り組んでいます。グループの信頼感と情報量を背景に、臨床検査技師の先生方がスムーズに仕事を進められるようお手伝いすることで、先生方の気持ちに余裕が生まれ、現場の雰囲気も良くなります。そして自分の仕事に誇りを持って懸命に取り組むことで自然と笑顔が生まれ、その気持ちがお得意さまにも伝わり、多くの人に笑顔が広がっていくと思います。

医薬品卸売事業

株式会社スズケンロジコム

環境と安全に配慮した物流で、社会に笑顔届けたい

運送事業会社の社会的責任として排出ガスの削減、交通事故の撲滅や運転マナーの向上は避けて通れません。2010年度は一部の地域で、安全運転とエコ運転の両方を管理できるシステムを試験的に導入し、2011年度には全国へと展開していく予定です。このシステムを活かし、責任を果たしていく主体は一人ひとりの従業員です。当社の屋台骨は「人材」であり、その笑顔は私の財産です。だからこそ教育研修、キャリアアップ支援に力を入れ、すべての従業員が希望を持って、いきいきと働ける職場であり続けたい。SPD事業、薬局の店舗間配送、治験薬配送など、当社のスキルを最大限発揮できる新市場を開拓していくことで、働きがい、やりがいも生まれます。共に努力し、感動を分かち合える仲間と協力し、社会のために何ができるかを考えていきたいと思っています。



代表取締役社長

松下 晴海

医薬品卸売事業

秋山物流サービス株式会社



代表取締役社長

川口 敏史

新規分野への積極的挑戦で、物流の可能性を追求

広大な北海道全土に、医薬品を安全、迅速に配送すること。それは当社だけでできることではありません。パートナーである各地の運送会社の協力に支えられています。創業25年、地域との共存共栄でここまで来ました。医薬品物流の世界では、商品アイテム数の増加、ロット別管理など、物流会社に対するニーズは日々進化しています。常に改善意識を持ち、現場起点で業務効率化や適正在庫管理に取り組む従業員の熱意は、当社の財産です。医薬品物流で培った経験とノウハウを活かし、医療廃棄物の収集運搬、医療機関や製薬会社の引越など、新規分野を開拓してきましたが、その挑戦はこれからも続きます。情報収集力、企画・提案力、実行力を向上させながら、グループ各社から学ぶべきところはどんどん吸収し、地域の物流ニーズに応えていきたいと思っています。

医薬品卸売事業

有限会社サンキ・メディハート

まごころを添え、「安全第一」「品質重視」「環境配慮」で医薬品を運ぶ

医薬品卸サンキの支店間配送を担う当社の社名「サンキ・メディハート」には、「まごころを添えて、医薬品をお届けします」との想いが込められています。スズケングループの一員として、その看板を背負って走る責任の重さをすべての従業員が認識し、「安全運転」「品質管理」「運転マナー」を徹底することが、地域社会から信頼される第一歩です。今後は定温車両の導入によるさらなる「品質管理」の強化とともに、「環境保全」活動として、CO2排出量削減に取り組めます。また、環境にやさしい運輸事業者の証である「グリーン経営認証」取得も視野に入れています。スズケングループが進める「医療流通プラットフォームの確立」の中で、中国地区における医薬品物流の一翼を担うべく、総合的な体制強化を図ることが当社の目標です。社名に込めた想いを大切に、これからも走り続けます。



代表取締役社長

道田 祐二

医薬品製造事業

株式会社三和化学研究所

“同床同夢”ともに同じ夢へと進みたい

当社は、糖尿病および糖尿病合併症領域に経営資源を集中、医薬品、診断薬、ニュートリションの3事業の総合力で「糖尿病治療のベストパートナー企業」を目指しています。グループ唯一の医薬品メーカーとして、患者さま・ドクターに多大な貢献のできる新薬開発を最優先課題に、ジェネリックニーズにも対応した高品質な製品を安定供給。加えて、他メーカーとのアライアンス、受託製造、OSDrC (One-Step Dry-Coating) 技術による医薬品の製剤開発から製造まで、お得意さまの期待と信頼に応え、業界で確固たるステータスを築いてまいります。それが、当社の果たすべき役割であり、グループの総合力につながるものと確信しています。私は「同床同夢」という言葉を常に社員に話しています。組織の壁を打ち破り、“夢を共有”することが大切と考えています。



代表取締役社長

小井 一雄

保険薬局事業

株式会社すずらん薬局

誇りと責任感を持って地域に役立ちたい

保険薬局は、医療流通プラットフォームの中で患者さまと直に接するところにあります。そのため患者さま目線での親身な対応を心がけ、医薬品とその情報を提供し、患者さまの健康のお手伝いをしています。時には患者さまから調剤のお礼としてお花等のプレゼントをいただくこともあり、その時は地域とアットホームな関係が築けたかなと思うこともあります。しかしその反面、万一患者さまに不安を感じさせるようなことがあれば、当薬局はおろか、グループ全体の信頼感を損ないかねません。常に緊張感を保ち、グループで最も歴史の長い直営の保険薬局であるという誇りと責任感を持って仕事に取り組んでいます。最近では介護支援サービスの取り組みをスタートさせました。地域社会のお役に立つことはもちろん、グループに対してこれからの保険薬局の方向性も提案していきたいと考えています。



代表取締役社長

田川 公平



保険薬局事業

両毛医薬品株式会社



代表取締役社長

荒井 孝夫

人と人の「機微」を大切に、地域に根ざした信頼へ

薬局は地域住民の健康を担うのですから、地域社会に信頼されなくてはなりません。そのために従業員には、患者さまとの触れ合いの中で生まれる繊細な「機微」を感じたり、伝えたりできる人であって欲しいと思っています。そこで私が心がけているのは、店舗を周っての従業員とのコミュニケーションと、明るく清潔な店舗づくりです。従業員の意識や職場の環境を高めることで、元氣な挨拶や、丁寧な説明も必然的に生まれてきます。全従業員が成功事例を共有し、患者さまを思いやる気持ちにより磨きをかけ、患者さまに安心してお帰りいただく。そして次の機会に「また来たい」と思っただけの薬局であるために、従業員一人ひとりが自ら考え行動する。それが真の地域貢献へとつながり、医療流通プラットフォームの一翼を担うことにもつながるのです。

保険薬局事業

株式会社ファークス

夢を共有できる仲間の存在が、大きな力に

ずっと言い続けてきたことがあります。薬局を「病気を治すために、しかたなく利用する場所」ではなく「体や心を癒し、笑顔を取り戻す場所」としてご利用いただく。そのために、患者さまの立場に立って、どんな時でも感謝の気持ちと誠実な対応をするということです。薬局は、薬物治療の流れの中で、患者さまへ安全に薬をお渡しするための最後の砦です。きちんと薬が飲まれ、効果が出ているかどうか。医療人としてそこまで見届ける責任が薬剤師にはあります。服用にあたっての患者さまの声を製薬会社に伝えて、飲みやすい剤形の薬の開発に役立ててもらうなど、患者さまの目線からの情報発信を積極的に行うのも薬局の役目になるでしょう。真に患者さまのため、社会のためになることに、グループの仲間達と一緒に取り組めることは大きな喜びです。もっと薬局を活用してもらいたい。全国107店舗、800名のスタッフは、新たな夢を膨らませています。



代表取締役社長

島田 光明

保険薬局事業

株式会社中国ファーマシー

患者さまとともに歩み、地域医療に広く貢献する薬局を目指します

中国地方で調剤薬局50店舗を展開する当社が大切にしてきたのは、「患者さまとともに歩む」ことです。高い専門性とともに、患者さま一人ひとりの状況を理解した親身な対応があつてこそ、心からの信頼が生まれます。創業以来、人材育成に力を入れてきた歴史から、自由参加の研修にほぼ全員が参加する風土、向上心溢れる従業員が互いに高め合える自由闊達な社風が当社の力となりました。薬局は医薬品を直接手渡す場所であり、1店1店がスズケングループの「顔」です。グループの一員としての意識を持ち、医療における責任と貢献を全員が自覚し、地域医療に対峙してほしい。そのために必要となるのが、在宅医療の強化であり、介護事業を展開するグループ会社との連携です。薬局に介護相談窓口を設置するなど、医療と介護の拠点として「患者さまを笑顔にする薬局」、「地域医療に広く貢献できる薬局」へと歩みを進めます。



代表取締役社長

金子 昌司

医療関連サービス事業

株式会社ライフメディコム

健康で豊かな生活に「情報」で貢献

学術情報誌の編集・出版、製薬会社や医療機関の広報ツール制作、学会事務局代行、医薬品の広告プランニング。当社は、メーカーから医療従事者、患者さままで、幅広い立場の方々への情報提供を通じて、医療の発展と質的向上に貢献する「情報創造企業」を目指しています。これからますます重要となる医療流通プラットフォームにおける「情報のシームレス化」。当社の役割は、あらゆる領域で必要とされる医療・健康情報に精通し、適切なメディアとシステムの選択で、提供する側と受け取る側、どちらにもメリットを提供する「情報伝達のジョイントピン」となることです。スズケングループ全社が「情報提供力」でお得意さまに貢献するために、わたし達が編集・出版事業で培った、数多くの専門医や医療関係者の皆さまとのネットワーク、企画力、提案力をぜひ活用していただきたいと思います。



代表取締役社長

田中 基博

保険薬局事業

株式会社メディシス

患者さま、処方元さま「満足度No.1」を目指します

当社は四国地区において、愛媛県に4店舗、徳島県に1店舗の保険薬局を展開し、香川県への出店を検討中です。グループの全国展開と歩調を合わせて四国全県に出店し、グループに貢献していきたいと考えています。当社では、薬の調剤を通して患者さまの健康管理をサポートさせていただくことはもちろんですが、気持ちから健康になっていただくための創意工夫をし、患者さま、処方元さま「満足度No.1」を目指しています。小分譲販売（1錠・1カプセル・1g・軟膏1本）もそのための取り組みの一つです。調剤支援センターとして各県の保険薬局と連携、グループの医薬品卸機能を活かし、在庫の圧縮、効率化に沿ってお役に立てるよう、さらなる進化を図っています。これからも、当社ならではのサービスを提供し、患者さま、処方元さまの満足度向上につとめていきます。



代表取締役社長

門脇 成雄

医療関連サービス事業

株式会社札幌メディケアセンター

「健康創造」の最先端拠点として、地域医療に貢献

当社は画像診断専門クリニック、女性クリニックなど、専門領域に特化した医療機関が集合するメディカルビル管理・運用を主な事業としています。単に提携医療機関に場所を提供するだけでなく、「がん」の早期発見・診断に有効なPET-CT*などの高度診断機器の導入支援、地域への普及啓蒙活動、健康診断を受けるお客さまへの付加価値の高いサービスなど、高品質な医療サービス提供のための環境支援に取り組んでいます。これまでに培った大学病院や地域医療機関とのネットワーク力を発揮し、予防から診断、治療に至るまで、「健診・検査を軸にした地域医療連携」を側面からサポートすること。それはスズケングループが目指す「健康創造」における一つの貢献の形であり、地域の人々が安心して健やかに暮らしていただくために、当社ができるCSRと位置づけています。



代表取締役社長

和田 茂

* PET-CT : Positron Emission Tomography(陽電子断層撮影法)とCTを複合させた検査装置



医療関連サービス事業

サンキ・ウエルビィ株式会社



代表取締役社長

原田 和夫

「人づくり」で地域の介護力向上に貢献します

中国地区で介護事業を展開する当社が、設立以来、変わらずに目指しているのは「質ナンバーワン」であり、そのための「人づくり」です。1,500名のスタッフ一人ひとりの介護技術はもとより、態度、思いやり、笑顔、マナーなど、総合的な人間力向上が介護の質を高め、利用者や家族、市町村からの信頼に結びつきます。ヘルパー養成講座には年間300名の方に受講いただき、地域の介護力向上へも貢献しています。「人づくり」こそが介護の原点、当社の社会的使命です。一般に「3K」あるいは「4K」と言われる介護の負のイメージを、働いているわれわれ自身が「希望」に変え、サンキ・ウエルビィから全国に発信していくという気構えで取り組んでいます。さらには、地域社会で求められている「医療と介護の連携」。その重要な役割を率先して担っていくことで、スタッフは仕事にも会社にも自信と誇りを持つのだと考えます。

医療関連サービス事業

エス・マックス株式会社

マーケティングで得たノウハウでグループの機能強化をサポート

当社は、医薬品のリサーチを行うことで、製薬会社のマーケティングをサポートしています。我々が提供するサービスの一つに、全国各地の高処方医師と面談する“薬剤の処方意図”のヒアリングがあります。具体的には「なぜその薬剤を多く処方しているのか?」「その薬剤で効果不十分例に対しては、どのような対応をされているのか?」などを直接、医師からヒアリングしています。その過程で我々が蓄積してきた、“医師からの情報の引き出し方”と、個人情報を保護した上での“情報の効果的な使い方”のノウハウは、グループの新しい価値の一つになると考えています。わたし達は、自社の使命をしっかりと果たし、グループ全体でノウハウを共有することに努めていきます。それがスズケングループの機能強化として“正確で公平な医薬品情報を提供する”ことにつながり、医師や患者さまのお役に立ち、社会貢献になると考えています。



代表取締役社長

杉原 尚之

医療関連サービス事業

株式会社サンキ・クリニカルリンク

未来の医療の礎となる医薬品の開発を支援

新しい効能を持った医薬品の開発は、多くの患者さまの命を救い、生活の質の向上をもたらします。当社は中国地方で、新薬が製造承認されるために必要な安全性・有効性を確認する「治験」の支援を通して、患者さまや地域医療機関、製薬会社に貢献することを使命としています。社員の大半を占める治験コーディネーターは、治験に参加する患者さまの安全確保や心身のケア、治験を実施する医師への情報提供やデータ管理支援などにより、治験を安全に円滑に進める役割を担っています。患者さまをはじめ、開発や治験に携わった多くの方々の「良い薬を」との強い想いの中で誕生した医薬品。その尊さをわたし達は知っています。医薬品の流通を担うスズケングループの一員として誇りを持ち、未来の医療の礎となる医薬品の開発支援を通じて、地域医療の発展と患者さまの健康に貢献したいと考えています。



代表取締役社長

藤田 茂助

医療関連サービス事業

株式会社シルバーメイト

フットワークの良さで介護に関わる人々のお役に立ちたい

九州の筑後地区を中心とした、介護用品の販売・レンタルが当社の主な業務です。ケアマネジャーや利用者の依頼に、的確かつスピーディーに応えるフットワークの良さを大切にしています。そのために当社では、使いやすく機能性の高い新製品をいち早く採用し、自社在庫として確保。利用者のニーズに合わせてタイムリーに提供できる体制を整えています。また全従業員が福祉用具専門相談員であり、福祉用具プランナー、福祉用具選定技能士、福祉住環境コーディネーターなどの資格取得に励み、介護用品はもちろん、住宅のバリアフリー化など介護に関する相談に幅広く応じています。社会の中で、そして医療流通プラットフォームにおいて、介護関連事業は今後、重要性がますます高まっていくでしょう。そんな時、当社の業務がグループの介護事業の先鞭となれるよう、ノウハウと信頼を着実に積み上げていきたいと思っております。



代表取締役社長

福田 英俊

医療関連サービス事業

株式会社HMS



代表取締役社長

高田 和行

きらっと輝く、スズケングループの宝に

医療経営コンサルタントとして歩みはじめて5年。新しいことに果敢にチャレンジする若いエネルギーが当社の強みです。当社が持つ「人材マネジメント」のノウハウを活かして、診断・治療・処方・調剤といった医療業務を軸とした「ながれ」を円滑にし、医療機関や薬局の健全な経営の維持をサポートする。それが質の高い医療という価値をもたらす、多くの人の健康に貢献できるのだと考えます。健康あってこそその笑顔です。社員には、自分の仕事が多くの人々の笑顔につながることを忘れないでほしいと思います。失敗を恐れずに、高い専門性と柔軟な発想力に磨きをかけ、新しい価値の創造にチャレンジしてほしい。そして、医療流通プラットフォームのどの領域でも活躍できるスペシャリストとして、スズケングループの宝になってほしいと願っています。

医療関連サービス事業

株式会社ジェイ・アイ・ティー

病院の課題解決を通して地域社会へ貢献

今から約20年前、当社の前身である会社で国内初のSPD業務をスタートさせました。当初は単に病院の物流管理やコスト低減のお手伝いというような院内雑務の軽減を主とした業務委託型支援でしたが、今では病院の課題を解決する仕組みづくり(ソリューションビジネス)に進化してきています。具体的には、購買代行、医療用画像管理、院内ネットワーク環境の整備、病院PRツール(ロゴ・シンボルマーク等)の開発・制作、院内TVレンタル事業などを行いお得意さまとパートナーシップを築いています。病院職員の皆さまに医療という本来の業務に専念していただくことで、患者さまは安心して診察や検査を受けることができます。そのための後方支援が当社の役割であり、問題解決型病院ソリューションビジネスを追求することで地域社会へ貢献していきたいと考えています。



代表取締役社長

上平 千明



医療機器製造事業

ケンツメディコ株式会社



代表取締役社長

高橋 史恭

高品質の医療機器製造で、「ケンツメディコならではの」存在感を
 当社の聴診器「ステレオフォネットシリーズ」は、複数の臓器の音を立体的に、そして繊細に聞き分けることができます。この性能は、日本の権威あるドクターからも高い評価を受けています。血圧計は、長い間スタンダードに位置づけられた製品を造り続けてまいりました。製品開発にあたって、常に当社が大切にしていることは、製品を進歩させる技術だけに捕らわれるのではなく、医療現場のニーズにお応えしていきたいという「想い」です。スズケングループの医療流通プラットフォームは、優れた販売ネットワークであることはもちろんですが、医療現場の声を製品開発へフィードバックするチャンネルとしても貴重なものです。このプラットフォームを活用し、医療機関の診察室、ナースステーション等で当社の製品を使い続けていただくこと。それが、当社にとっての社会貢献だと確信しています。

その他の事業

株式会社コラボワークス

グループに、また社会に貢献できる医薬品物流のプロ集団を目指して
 メーカー物流を担う当社は、メーカーから信頼され、物流のパートナーになることを目標に、「ルール通りに仕事をする」を徹底して高品質な倉庫運営に努めています。本社と4つのセンターではISO9001の認証を取得しています。それは当社の品質マネジメントシステムのレベルを示す結果であり、内部品質監査を強化することで、さらなる向上を目指しています。当社の強みは、医薬品メーカー出身者が多く、メーカー視点に立ることです。スズケンから出向で来られる方は、当社の人材不足を補う一方で、最先端のメーカー物流を学んでいただけます。将来予測される業界の構造改革では、さまざまな物流機能を持つグループ力が発揮されるでしょう。医薬品物流のプロを育て、自らの役割を全うすることで、社会貢献とグループ理念の実現を図りたいと考えています。



代表取締役社長

蜂須賀 秀行

その他の事業

株式会社ライフサポート

3つの事業を通して「Smile」を皆さまに

当社は3つの事業を通して、「安心」「健康」「快適」をサポートすることで、皆さまに「Smile」をお届けしています。保険事業では、グループ各社のリスクマネジメントとグループ社員のライフプランナーとしての役割を担い「安心」をサポートしています。生活事業では健康食品や栄養機能食品の提供を通して「健康」な毎日をサポートしています。設備事業では什器備品やレイアウトの提案によって医療機関の「快適」な空間づくりをサポートしています。当社の役割は、3つの事業のエキスパート集団として、例えば事業活動により生じるリスクヘッジのための最適な保険提案など、グループ各社が安心して本業に専念できるようサポートすることにあります。社員一人ひとりの個性を生かしながら、さらに専門性を高め、「ライフサポートがあって良かった」と言ってもらえるような、なくてはならない存在を目指してまいります。



代表取締役社長

竹市 宏

その他の事業

有限会社九葉サービス

従業員とその家族から、笑顔を広げたい

当社の中核事業である保険代理業では、翔葉の社用車・自家用車の自動車保険やオフィス等の火災保険などを一元管理しています。また、福利厚生の一環として各種食品やスーツ等の斡旋をグループの従業員、お得意さま、お取引先さまへ行っています。これらのサービスを通じて、従業員とその家族をはじめ多くの方々に笑顔になっていただき、安心して働けるようにお手伝いをしていきたいと考えています。当社が従業員の生活や会社の資産を守る役割を果たし、さらにお得意さまに対して医薬品以外のさまざまなサービスを提供できれば、翔葉は本業の医薬品卸売業に、より力を集中できるはず。今後はグループのライフサポートと連携を深めてスケールメリットを活かし、保険の構成や団体加入メリット、斡旋商品のラインナップなどをより魅力的なものにしていきます。



代表取締役社長

平田 修一

その他の事業

株式会社ガレノス

オンリーワンの会社を目指す経営戦略

当社は、少数精鋭の社員で「栄養機能食品の開発、製造プロデュース、販売」を一貫して行っています。少数だからこそ一人ひとりの役割が大きく、取り組みに対する成果も目に見え、仕事への意欲も高まり、実績も毎年順調に推移しています。当社の商品群は、お客さまの健康維持・増進の補助的役割を担い、毎日の笑顔（スマイル）につながっていくものです。また、これからの健康創造になくてはならないものでもあります。スズケングループの主体である医薬品とのシナジー効果で、栄養面から健康創造をお手伝いし、社会のお役に立ちたいと考えています。当社は、常にニッチ市場を意識し、まったく前例のないものを開発し、大手と競争しないオンリーワンの会社を目指しています。今後もお得意さまの立場に立った「ホスピタリティ」や「思いやりの心」を大切にしたい価値創造経営を行っていきたくと考えています。



代表取締役社長

柴山 満夫

その他の事業

中央運輸株式会社

P・J・Dネットワーク株式会社
グッドサービス株式会社

高品質な物流は、「赤ちゃんを運ぶように」の心がけから

医薬品を運ぶには、医薬品の知識が必要です。社内に薬剤師を配し、温度管理などにも細心の注意を払っています。また人の健康に携わるのですから、環境への優しさが欠かせません。「赤ちゃんを運ぶように」をモットーに、エンジンの回転数を抑えた運転を心がけ、安全運転で燃費も向上させています。医薬品輸送で業界トップ、保冷医薬品共同配送も最初に手がけた当社にとっても、スズケングループへの参加は大きな強みです。例えば治験薬を、わたし達メーカー物流から卸物流へと直にリリースし、効率的に医療機関まで運べるようになりました。さらに同業3社と提携してP・J・Dネットワークを設立し、全国規模の高品質な医薬品輸送網を構築。そしてグッドサービスでは、育成したドライバーのグループ内派遣を行うなど、医療流通プラットフォームにおける役割を万全の態勢で担っていきます。



代表取締役社長

赤澤 隆彦

編集後記

スズケングループとして初めての発行となる本書は、特集の座談会にてご紹介しました「スズケングループ経営理念の策定」と同様に、各社トップの方々をはじめ、多くの皆さまのご理解や参画・協力を得て制作されています。

制作する過程で行ったグループ各社トップへのインタビュー。その言葉に共通していたのは、「健康創造企業」としてグループを形成する各会社の事業活動そのものが社会への貢献であるという高い意識。そしてグループの顔として各々の役割の中で誇りをもって真摯に事業に取り組む、「すべての方々を笑顔に」といった熱い想いでありました。

「スズケングループの事業領域と社会への役立ち」では、医療と健康という事業領域で、すべての方々の笑顔あふれる豊かな生活に貢献し続ける各社の事業を紹介しております。また、「スズケングループSmile宣言」では、各社トップの熱い想いを掲載させていただきました。

ぜひご一読いただければと思います。

掲載された記事の一つひとつには、関わっていただいた方々の想いが込められています。ぜひスズケングループのCSR推進に向けた想いを感じていただければ幸いです。

当グループのCSRは、一人ひとりが社会の一員としての自覚を持ち、「スズケングループ経営理念の実現」により本業を通じて、社会の持続的な発展に貢献していくことです。

今回の「スズケングループCSR宣言書 Smile Communication」の制作をステップに、それぞれの組織活動を融合しグループ総合力へと高め、各地域で今まで以上の笑顔の花を咲かせていくことが、今後の当グループの使命であると考えています。

最後になりましたが、制作にご協力いただいたすべての方々に心よりお礼申し上げます。また、本書について、皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

2010年11月
スズケングループCSR推進事務局

■本書に関するお問い合わせ先

株式会社スズケン 経営企画部 〒461-8701 名古屋市東区東片端町8番地 TEL(代表):052-961-2331

スズケングループCSR宣言書 環境等への配慮



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



管理森林から伐採した木材を使用
して自然森林を守っています。



インキ中の石油系溶剤をすべて
排除し、植物油(大豆油)に切り換え
た環境配慮型水なしVOCフリー
インキで印刷しました。
※VOC(揮発性有機化合物):
Volatile Organic Compounds



印刷時に有毒な廃液が出ない
水なし印刷方式で印刷してい
ます。

